

「文化・生涯学習振興と広聴広報に関するアンケートに関するアンケート」 実施報告

環境生活部文化振興課及び広聴広報課が実施しました「文化・生涯学習振興と広聴広報に関するアンケートに関するアンケート」について、575名の方からご回答をいただきました。

アンケート結果をとりまとめましたので、ご報告します。

(1) アンケート実施期間

令和2年10月16日（金）～令和2年10月29日（木）

(2) アンケート回収状況

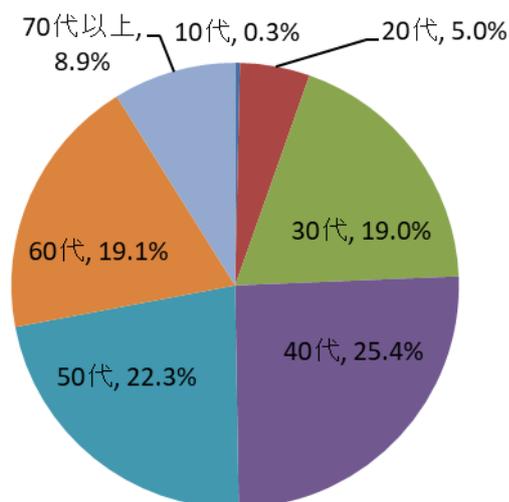
対象者数 952名
回答者数 575名
回答率 60.3%

(3) 回答者属性

【年代別】

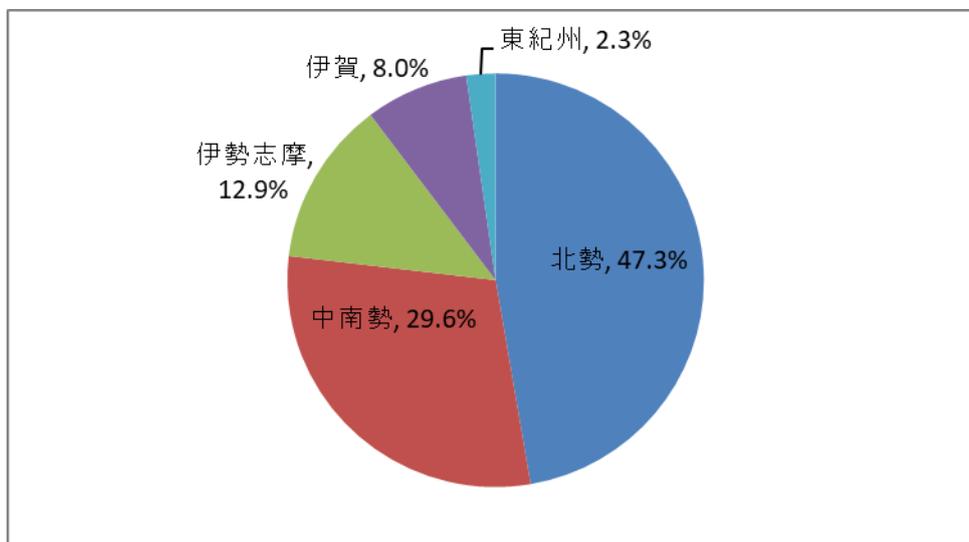
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
回答者数（人）	2	29	109	146	128	110	51	575
割合	0.3%	5%	19%	25.4%	22.3%	19.1%	8.9%	100.0%

※割合は小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。



【地域別】

	北勢	中南勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州	計
人数	272	170	74	46	13	575
割合	47.3%	29.6%	12.9%	8.0%	2.3%	100%

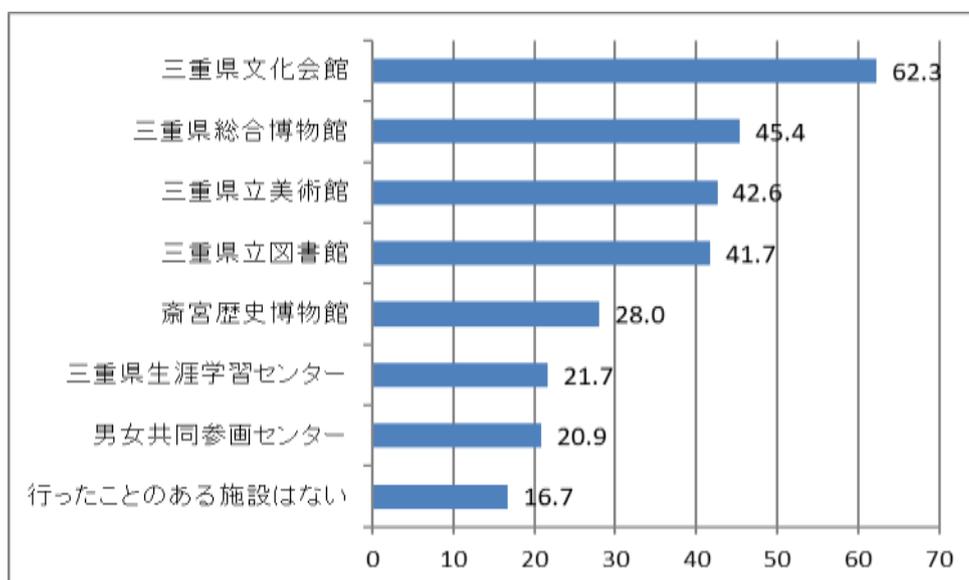


(4) アンケート集計結果

Q1 これまで行ったことのある県立文化施設について

次の県立文化施設のうち、あなたがこれまでに行ったことのある施設はどれですか。

(単位：%)



県立文化施設に行ったことがあるとの回答は全体の約8割となりました。個別にみると、「三重県文化会館」(62.3%)が他の県立文化施設と比べて特になくなりました。これは、同館では他館と比較するとコンサートや演劇をはじめとして、さまざまな公演やイベントが数多く行われているためではないかと思われます。

Q 2 昨年1年間で県立文化施設に行った回数について

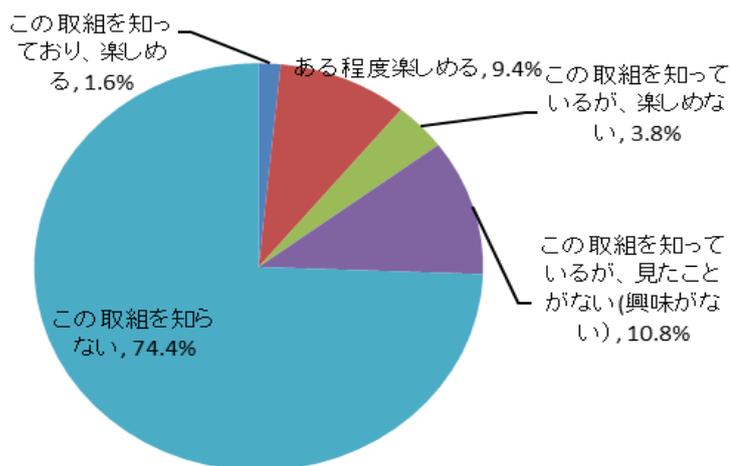
あなたは、昨年1年間で展覧会や公演、イベント等のため、県立文化施設に何回ぐらい行きましたか。



Q 1 でこれまでに県立文化施設に行ったことがあると回答した方を対象に、昨年1年間に県立文化施設に行った回数をお聞きしたところ、「1回も行ってない」(43.4%)が最も多く、次いで「2～5回」(32.4%)、「1回」(18.8%)、「6～9回」(1.5%)の順となりました。一方で、「10回以上」(4%)との回答もありました。

Q 3 県立文化施設において文化芸術にふれたり、学んだりする機会について

県立文化施設では、インターネットを活用した動画の配信や所蔵品を SNS で発信するなど、自宅で楽しめる取組を行っています。こうした取組について、どのように感じていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

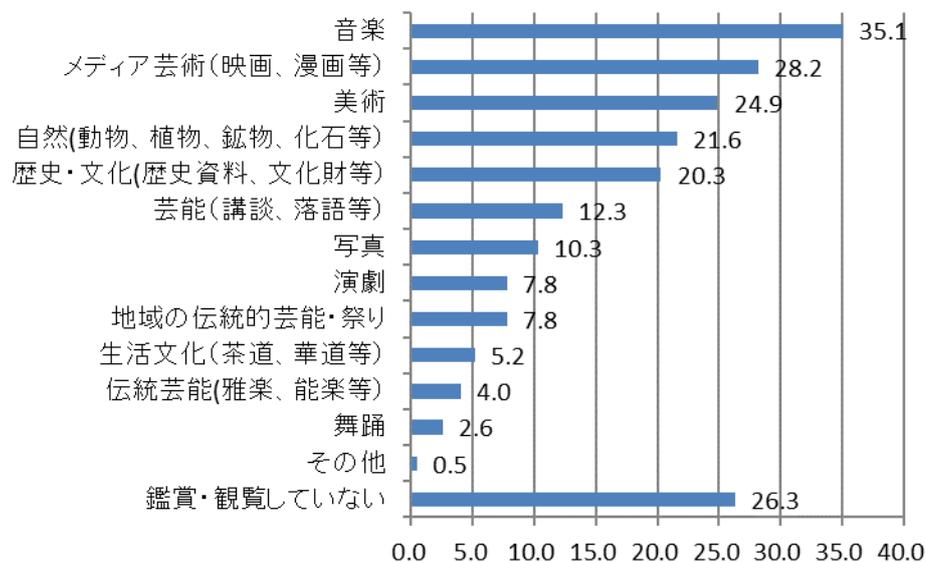


「取組を知らない」(74.4%)が多数を占めましたが、「取組について知っている」と回答した方の内訳を見ると、「楽しめる」「ある程度まで楽しめる」と回答した方は11%で、「楽しめない」(3.8%)と回答した方を上回りました。

Q 4 鑑賞・観覧した文化芸術のジャンルについて

昨年1年間にあなたが鑑賞・観覧した文化芸術のジャンルは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

(単位：%)

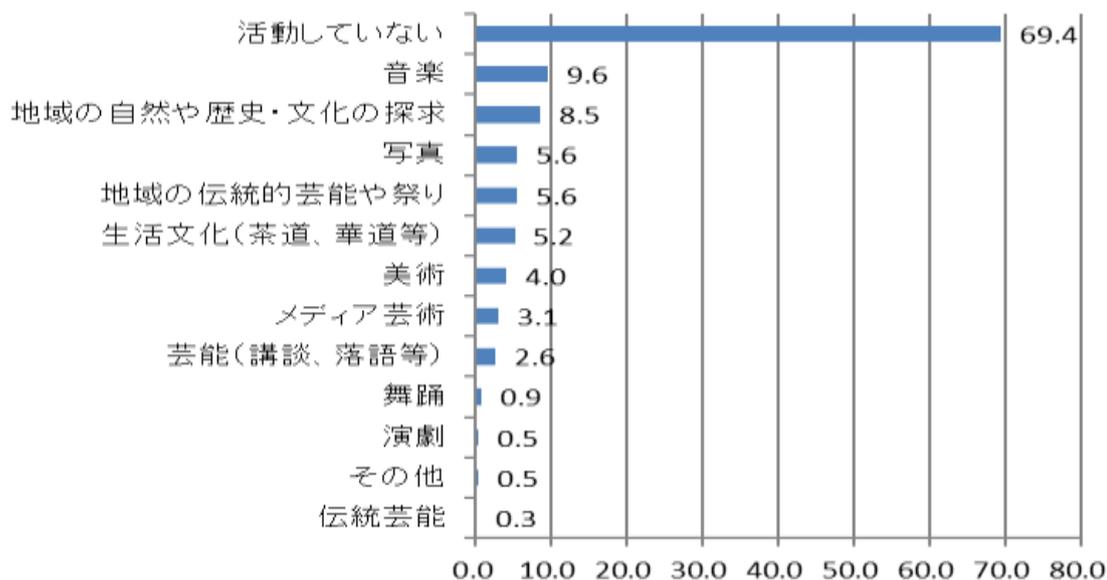


「音楽」(35.1%)、「メディア芸術」(28.2%)、美術(24.9%)の順となりました。一方で、「鑑賞・観覧していない」も26.3%ありました。

Q 5 活動した文化芸術のジャンルについて

昨年1年間にあなたが活動した文化芸術のジャンルは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

(単位：%)



「活動していない」(69.4%)が多数を占めましたが、「活動した方」の内訳では「音楽」(9.6%)が最も多く、「地域の自然や歴史・文化の探求」(8.5%)、「写真」「地域の伝統的芸能や祭り」(5.6%)の順に多い結果となりました。

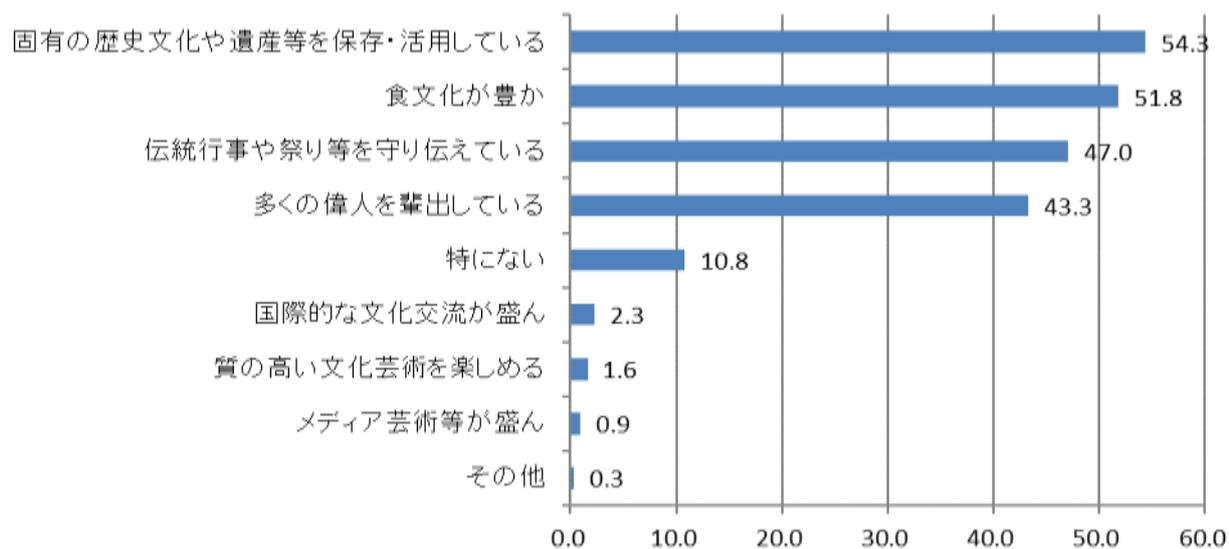
なお、「その他」の主な内容は次のとおりでした。

- ・川柳、刺繍

Q6 三重県の文化の特徴だと思うものについて

あなたが三重県の文化の特徴だと思うものはどれですか。あてはまるものを3つまで選んでください。

(単位：%)



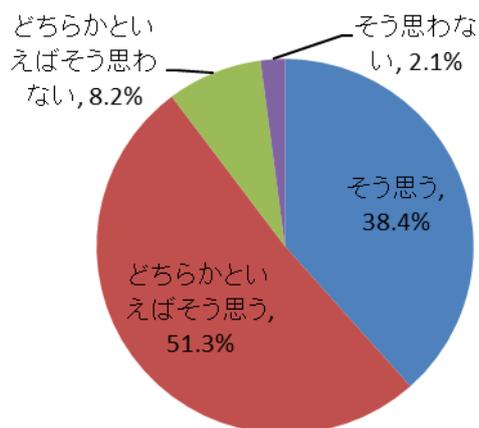
「固有の歴史文化や遺産等を保存・活用している」(54.3%)、「食文化が豊か」(51.8%)、が上位を占めました。

なお、「その他」の主な内容は次のとおりでした。

- ・伊勢神宮及び関連行事

Q7 三重県に対する誇りや愛着について

あなたは、三重県には全国的あるいは国際的に誇ることができる歴史的資産等があり、愛着を感じるのでしょうか。



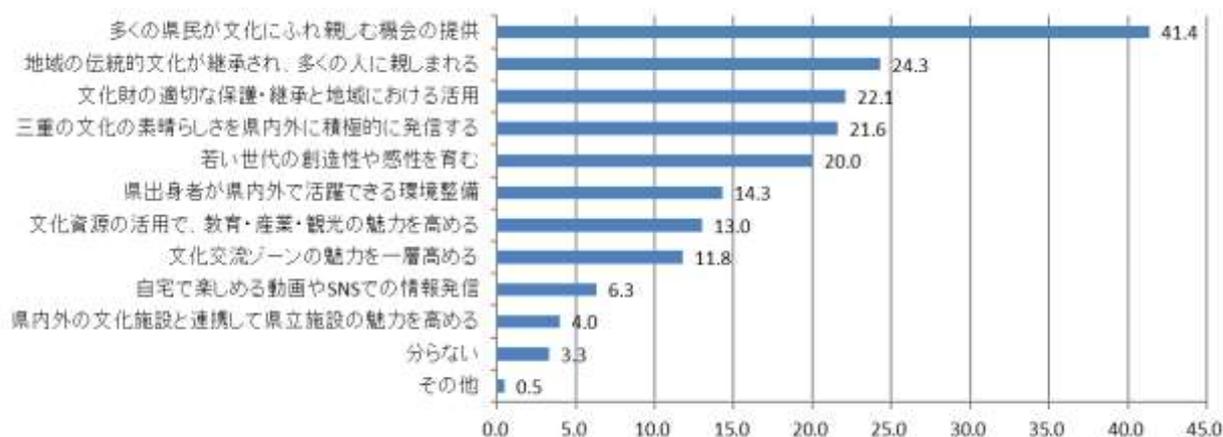
「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の回答が 89.7%あり、昨年度(89.6%)と同程度であり、約9割の方が三重県に誇りや愛着を感じているという回答になりました。

Q8 今後県が力を入れるべき文化施策について

あなたは、県は今後どのような文化振興施策に力を入れるべきだと思いますか。あてはまるものを2つまで選んでください。

※選択肢内の文化交流ゾーンとは、三重県総合博物館の整備を契機として、新たに魅力あふれる「県民の学び・交流・体験の場」となるよう発展を目指す県立美術館を含めた県総合文化センター周辺地域のことです。

(単位：%)



「多くの県民が文化にふれ親しむ機会の提供」(41.4%)が最も多く、「地域の伝統的文化が継承され、多くの人に親しまれる」(24.3%)、「文化財の適切な保護・継承と地域における活用」(22.1%)の順に多い結果となりました。

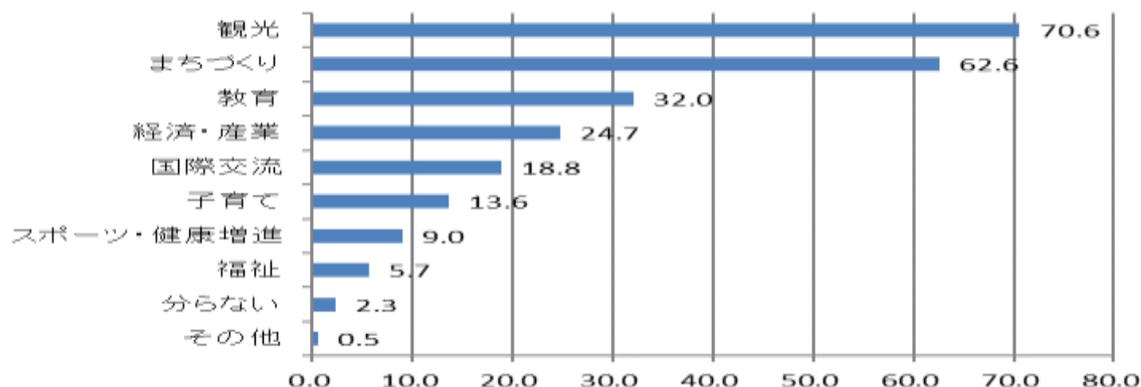
なお、「その他」の主な内容は次のとおりでした。

- ・文化施設が身近に感じられない
- ・お金をかけて県外から来てもらえる施設をつくる
- ・文化施設に力を入れなくてよい

Q9 文化芸術を生かしたら良いと思う分野について

あなたは、文化芸術をどのような分野に生かしたら良いと思いますか。あてはまるものを3つまで選んでください。

(単位：%)



「観光」(70.6%)、「まちづくり」(62.6%)、「教育」(32.0%)が上位を占めました。

なお、「その他」の主な内容は次のとおりでした。

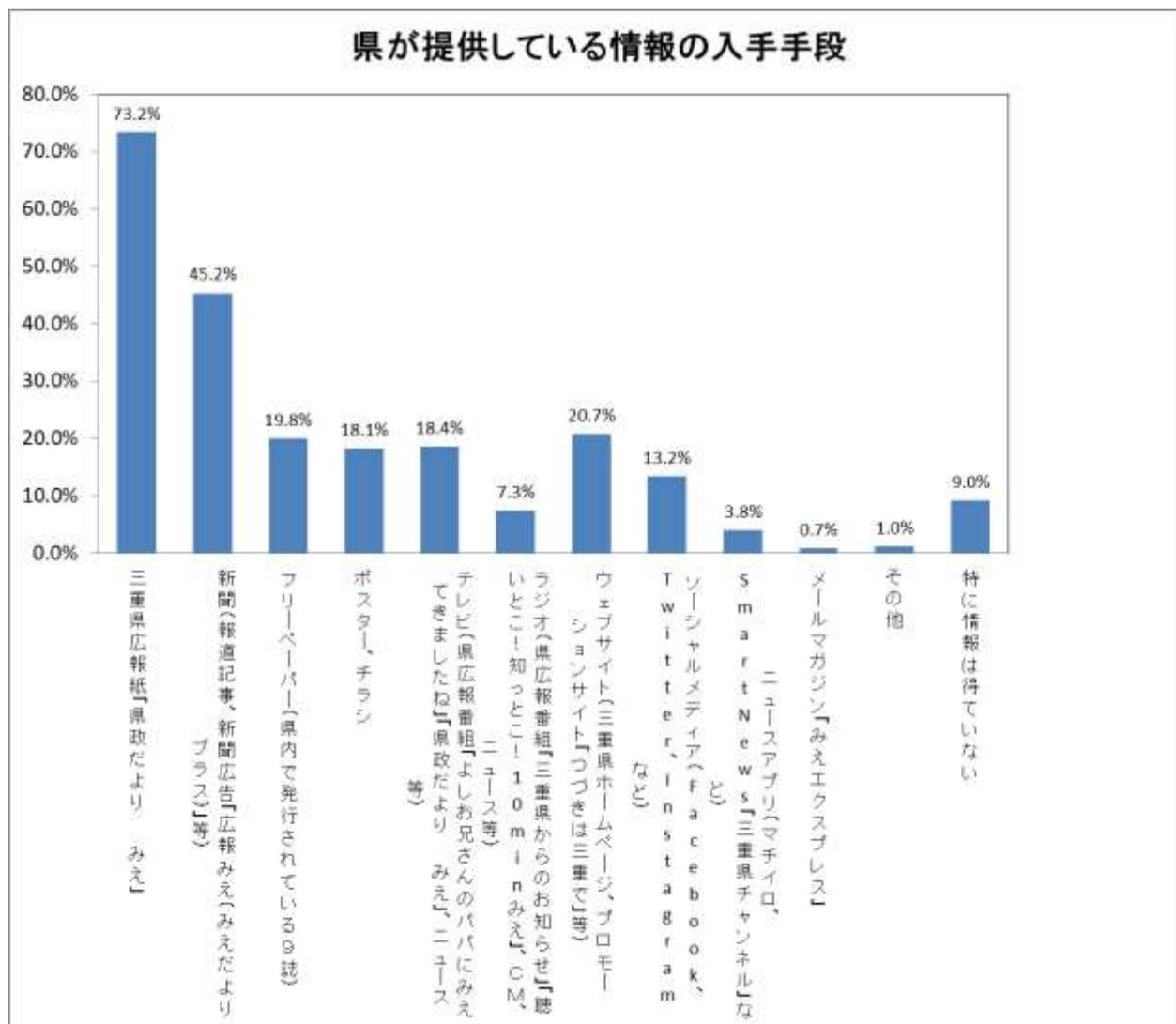
- ・高齢者にも受け入れられやすい文化芸術
- ・企画展における説明の工夫など、様々な文化芸術を理解できる環境づくり
- ・文化芸術を担う人材の育成

Q10 県が提供している情報の入手手段について

あなたは、三重県が提供している情報（※）をどこから得ていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

※三重県が提供している情報とは、県の計画・政策・財政、募集案内、催し物案内、研修案内、各種統計、県有施設の案内、官公署の事務手続き方法等に関する情報のことです。

(単位：%)



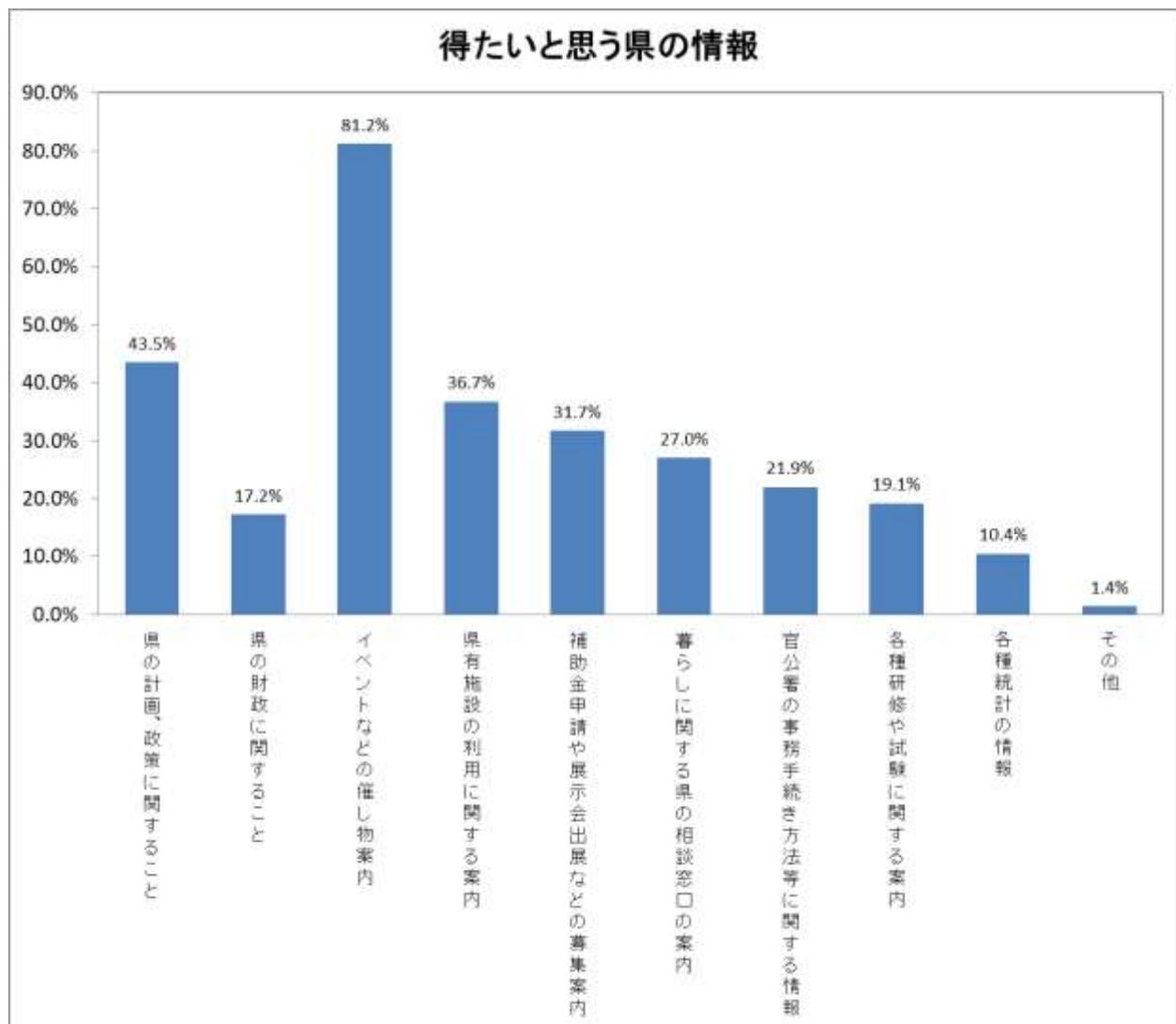
県の事業や催し物などの情報源については、「三重県広報紙『県政だより みえ』」が73.2% (421人)と最も多く、次いで、「新聞(報道記事、新聞広告)等」が45.2% (260人)、「ウェブサイト」が20.7% (119人)などとなっています。

県民の皆さんの情報入手手段が多様化していることから、より効果的に広報活動を実施するため、広報紙、新聞やテレビ・ラジオ、三重県ホームページなど、それぞれの媒体の優れた点を生かし、今後も県の情報をより分かりやすく、適切に発信していきます。

Q11 得たいと思う県の情報について

あなたは、どのような県の情報を得たいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

(単位：%)



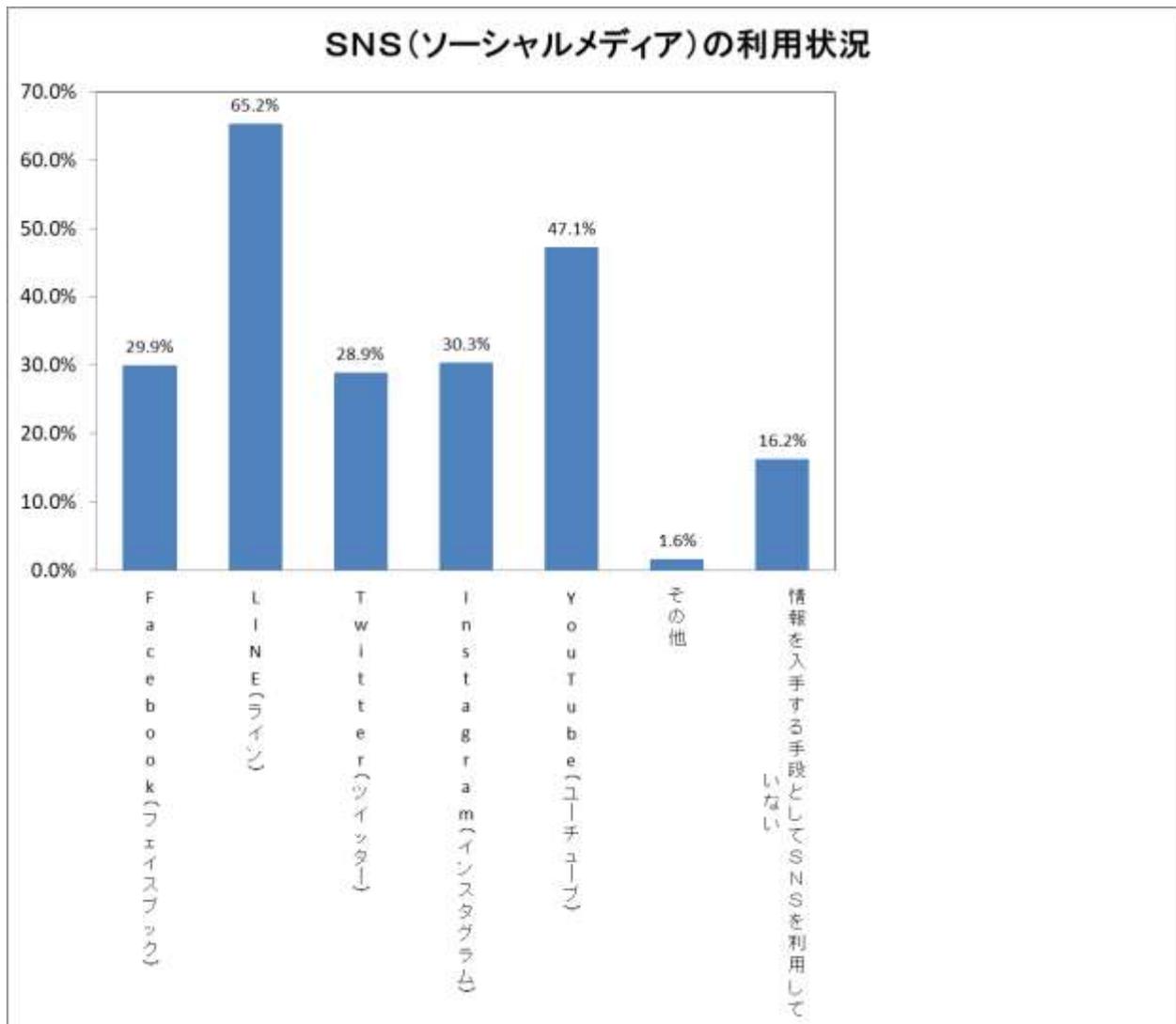
得たいと思う県の情報については、「イベントなどの催し物案内」が81.2% (467人)と最も多く、次いで、「県の計画、政策に関すること」が43.5% (250人)、「県有施設の利用に関する案内」が36.7% (211人) などとなっています。

今後も県民の皆さんのニーズをふまえ、さまざまな広報媒体を組み合わせた情報発信を行います。

Q12 SNS（ソーシャルメディア）の利用状況について

県の情報に限らず、さまざまな情報を入手する手段（知人等との連絡目的の使用を除く）として、あなたが、現在利用しているSNSは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

（単位：％）



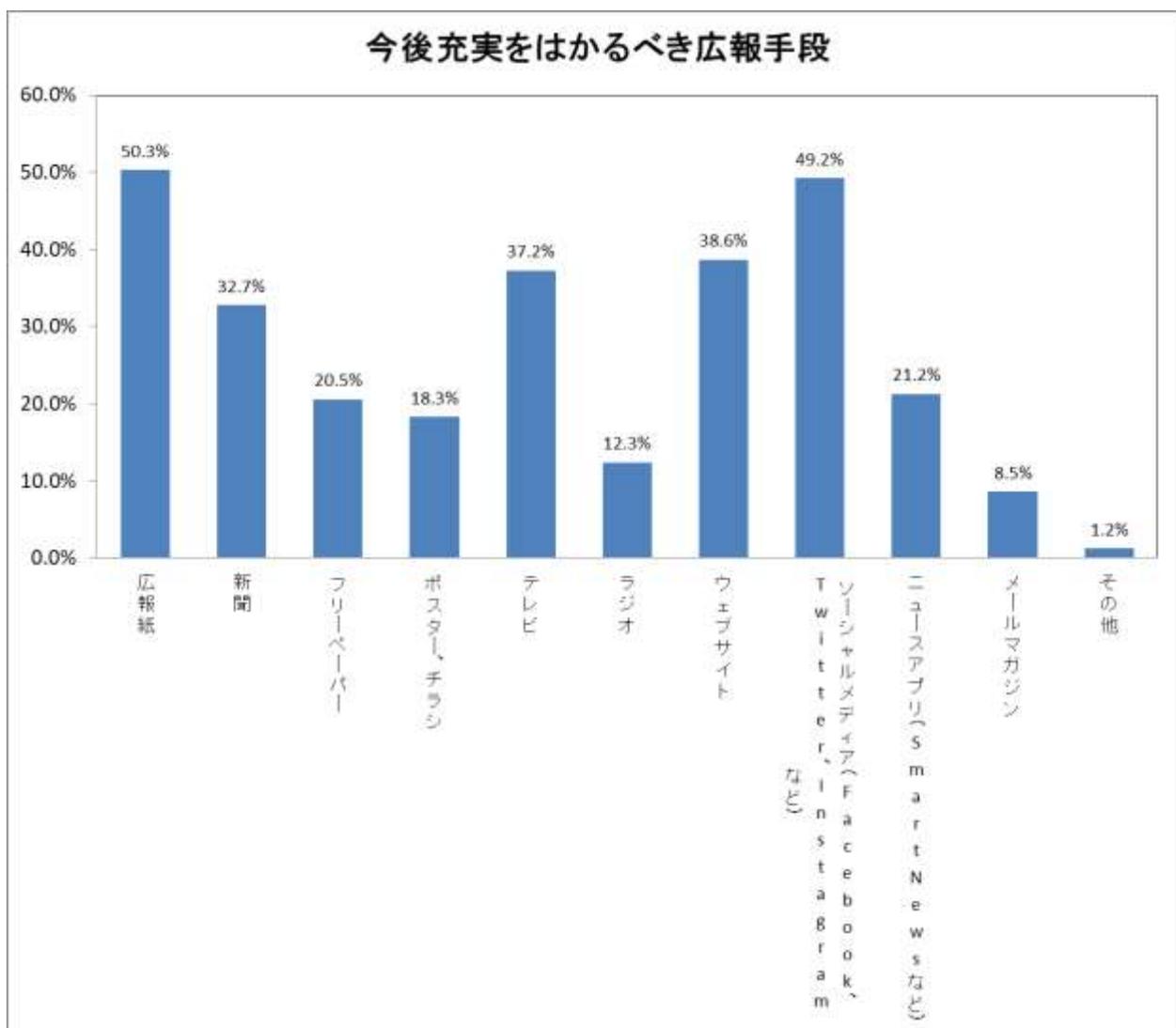
SNS（ソーシャルメディア）の利用状況については、「LINE（ライン）」が 65.2%（375 人）と最も多く、次いで、「YouTube（ユーチューブ）」が 47.1%（271 人）、Instagram「インスタグラム」が 30.3%（174 人）などとなっています。

県民の皆さんが利用する SNS についても多様化していることから、それぞれの優れた点を生かし、適切に情報発信していきます。

Q13 今後充実をはかるべき広報手段について

あなたは、今後、充実を図るべき県の情報提供の方法は、どのような方法がよいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

(単位：%)



今後充実をはかるべき広報手段については、「広報紙」が50.3% (289人)と最も多く、次いで、「ソーシャルメディア (Facebook、Twitter、Instagram など)」が49.2% (283人)、「ウェブサイト」が38.6% (222人)などとなっています。

県民の皆さんの情報入手手段のニーズが多様化していることから、今後もより効果的に広報活動を実施するため、各媒体の優れた点を生かし、メディアミックスでの情報発信を行います。